

令和3年度



東明小だより

第9号 令和3年11月25日(木)

「思いやり」について考える ～「ひびきあい集会」を行いました～

校長 奥村 哲也

時々、学年ごとの下校の様子を見に出かけます。先日のこと、低学年の集団と一緒に押しボタン信号の所まで行くと、一人の男の子がボタンを押そうといち早くボックスに近づきました。低学年の児童にとって、信号のボタンを押すことはとても魅力的なことで、多くの子が「自分こそが押したい」と思っています。以前はちゃんと順番が決まっていたのですが、近ごろは曖昧になっているとのこと。

さて、男の子がボックスに近づいたその時、大きな声がしました。「押しちゃダメ。今日は、〇〇ちゃんに押させてあげて。〇〇ちゃんだって押したいんだから…」。〇〇ちゃんのことを思って勇気を出して声を発した女の子、その声を聞いてすぐに身を引いた男の子、少し恥ずかしそうにボタンを押す〇〇ちゃん…なんともほほえましい光景でした。

11月19日(金)に児童会執行部が中心となって「ひびきあい集会」を行い、「思いやり」について全校で考えました。話し合いでは、「□□さんが休み時間の終わりにいつもボールの片付けを押し付けられる」という場面を取り上げ、「どうしたら□□さんが悲しい思いをしなくてすむか」についてそれぞれの学級で考えました。その後、各学級をオンラインでつなぎ、「押し付けられると悲しい思いをするから、みんなでじゃんけんをして片付ける人を決めるといい。」「誰かに押し付けないで、みんなが自分から進んで片付けるようになりたい。」などの意見交流がなされました。



2021/11/19 ひびきあい集会 オンラインでの交流の様子

そして、集会の最後には、執行部の大塚くんが「今日の集会では、相手の気持ちを考えて、どんな言葉をかけたりどんな行動をとったりすればよいかをみんなで考えることができました。今日のような場面は毎日の学校生活の中にたくさんあります。今日考えた『相手への思いやり』を大切にして、みんなが笑顔になれるようにしていきましょう。」と締めくくってくれました。

12月10日は「世界人権デー」で、12月4日(土)～10日(金)は「人権週間」になります。学校では、「道徳の授業」や「ひびきあい集会」「ふわふわ言葉でいっぱいしようキャンペーン」などを通して「思いやりの心」を育てていきたいと考えています。また、現在、可児市人権啓発センターの方が持ってきてくださった人権にかかわる本を職員室前に展示し、貸し出しを行っているところです。ご家庭におかれましてもこの機会に、「人権」や「思いやり」について話題にさせていただけたら幸いです。